

# 健ガカナビ

第46回

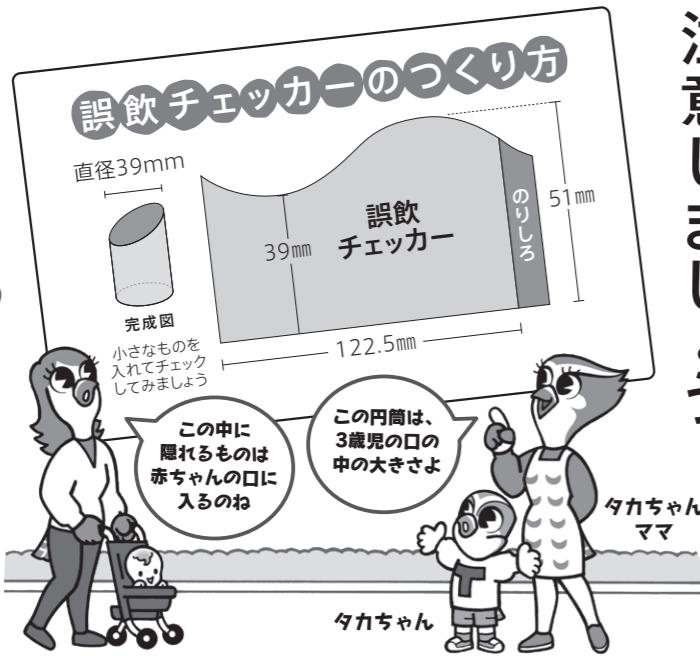
赤ちゃんはハイハイを始める頃からいろいろな物に興味をわき、何でも口に入れたがります。時に異物を誤飲することがあり、それが気管や気管支など空気の通り道に入る「誤嚥」になることがあります。

誤飲事故の上位である菓やたばこに比べて食品は油断しがちですが、2歳未満(乳幼児)の誤嚥の多くは、ピーナッツや枝豆のような小さくて硬く、表面が滑らかな食品です。乳幼児は気管が狭く、食べ物を噛み砕くのも得意ではありません。多少大きな食べ物でもあまり噛まずに飲み込んでしまうため、誤嚥による事故が起こりやすいのです。お父さんがおつまみの豆類を食べさせて誤嚥につながるケースもあります。節分の豆も注意が必要です。また、3歳を過ぎるとおもちゃを飲み込む事故も増えてきます。

こうした乳幼児の誤飲や窒息を予防するために、ピーナッツなどの豆類は3歳くらいまでは食べさせないようにしましょう。また、直径39mm奥行き51mmの円筒の「誤飲チェッカー」があります。これに入る大きさのものは乳幼児の手の届かないところに管理しましょう。

誤嚥した場合、喉に詰まって呼吸が止まったりすることがあります。意識があるときは背中をたたいたりして異物を吐き出せばいいのですが、出ない場合でもむせて咳込んだりする症状が30分くらいで治まることもあります。そのままにしておくと、異物が気管から肺に入り肺炎を起こすことがあります。咳込みが治まってもできるだけ速やかに医療機関を受診し、必ず異物を飲み込んだこと、飲み込んだ時の様子を具体的に医師に伝えてください。

## 小さくて丸い食品は、乳幼児の誤嚥に注意しましょう



監修 慶應義塾大学医学部小児科学教室

肥沼 悟郎

### 高田製薬株式会社

〒336-8666 埼玉県さいたま市南区沼影1丁目11-1

高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。